

市町村名	戦略の名称	戦略基本目標	主な事業の名称	主な事業の概要
大分市	大分市総合戦略 (原案)	①しごととにぎわいをつくる ②あらゆる人にやさしく、そして次代を担う若者を育てる ③いつまでも住み続けたいまちをつくる ④安全・安心な暮らしを守り、未来をつくる	(仮称)大分都市広域圏による 観光発展魅力創造事業(パッケージ化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分都市広域圏観光PR事業 観光パンフレットを作成するとともに、圏域周遊観光プランを開発する。</li> <li>・インバウンド旅行商品造成促進事業 観光資源と文化・芸術を組み合わせ、魅力的な旅行商品を開発、販売する。</li> <li>・おおいた観光周遊促進事業 JRや県、他市との連携により、周遊ツアーを促進するキャンペーンを実施する。</li> <li>・中心市街地プロモーション事業 連携都市のイベント事業者が、本市中心市街地を活用するイベントの実施に係る費用を補助する。</li> <li>・新観光PR映像作成事業 観光PR映像を多言語化し、Webで閲覧できるようコンテンツを作成する</li> <li>・キリシタン、南蛮文化遺産活用推進事業 関連市町と連携し、日本遺産の認定を目指した事業を実施する。</li> </ul>
			ものづくり産業地域連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>※県連携事業 製造業における自動化・効率化のための製造装置新設、増設や人材育成に要する経費の一部を補助する。</li> </ul>
別府市	まちをまもり、まちをつくる。 べっぴん未来共創戦略	①資源(ひと・温泉・歴史・文化・伝統)を活かして新たな価値を創り、儲かる別府に進化する。 ②多様性と受容力をいかして、別府に新しいひとの流れをつくり、受け入れる ③ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる。 ④ひととまちをまもり、地域と地域が連携する。	創業支援	市内での創業による新たなビジネスや雇用を促進するため、起業に対する経費の助成など
			伝統工芸を基にしたイノベーション	伝統工芸技術を活用した新たな価値を創出させるため、別府竹細工の職人と異業種を連携させた新たな商品開発など
			世界一の温泉観光都市への挑戦(インバウンドなど)	外国人観光客の受け入れ環境整備(無線LAN), 受入強化体制に取り組む
			全ての子どもを育む環境の充実	「小1の壁」の解消に向け児童が安心して過ごせる場づくり、安心して子供を預けられる環境整備を図り、仕事と子育ての両立を支援する。
中津市	中津市版まち・ひと・しごと創生総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中津の第1次産業に新たな道を拓く</li> <li>・中津の地域や産業が行う未来志向の新しい取り組みを支える</li> <li>・人を呼び込み、中津を元気にする</li> <li>・中津の未来を担う人材を育む</li> <li>・安心して住み続けたいと思える中津を目指す</li> </ul>	移住促進事業	都市部の移住希望者に対して、空き家など住居の情報に加えて、仕事や地域での暮らしの情報などを総合的に提供していくことで、利用者にとってワンストップかつ移住後も安心のアフターフォロー体制を構築する。 また、都市部で暮らす中津市出身の学生、社会人に対しても、市内の仕事などを情報提供しUターンを促進する。
			中津耶馬溪の観光復活事業	日本新三景「耶馬溪」の選定100周年や、中津市と杵築市で撮影が行われた映画「サバイボマスク」の公開、東九州自動車道の全線開通などの観光誘客の好機を捉え、中津へ人を呼び込むための情報発信、及びサイクリングロードを活かした体験型観光の推進など市内周遊を促進する。
			学びの教室ステップアップ事業	これまで「学びのススメ塾」や「放課後子ども教室」などにより進めてきた基礎学力対策の取り組みに加え、さらに上位を目指す子どもが学ぶことができる環境を創出するためのステップアップ講座を実施する。
日田市	日田市まち・ひと・しごと総合戦略 「地域力日本一」持続可能なまちづくり	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日田市における安定した雇用を創出する</li> <li>2. 日田市への新しい人の流れをつくる</li> <li>3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</li> <li>4. 人が共に支え合い、安全・安心で快適に暮らせる地域を創る</li> </ol>	日田市中小企業支援センター(仮称)設置事業	中小企業や小規模事業者の経営等の相談や創業希望者の多様な相談に応じるワンストップ窓口の中小企業支援センターを設置し、金融機関との連携等による、中小企業等の経営基盤の強化や創業支援により地域経済の活性化を図るもの。
			奥日田誘客促進事業(奥日田地域の観光デザイン)	奥日田地域の溪流やダム湖、森林、産業、各種観光施設を生かしたアウトドアスポーツ等の体験型観光メニューを充実するなど、奥日田地域への誘客を促進するもの。併せて、豆田・隈の街並みや日田・天ヶ瀬温泉、JR九州が経営を行う「ひびきの郷」などの観光資源と結びつけ、市内周遊型観光の推進を図るもの。
			新しい公共推進事業(新たな住民自治体制への支援)	人口減少社会の中、地域住民の安全・安心な暮らしを維持するため、「自助・共助・公助」の役割分担に基づいた住民自治の推進(住民自治協議会の設立、住民の主体的まちづくり等)を図るもの。
佐伯市	佐伯市まち・ひと・しごと総合戦略	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 仕事を育て、仕事を創る</li> <li>2 佐伯市への人の流れを促す</li> <li>3 出産・子育ての希望をかなえる</li> <li>4 街・浦・里が支え合い、高め合う</li> </ol>	定住促進事業	地域コミュニティの維持を目的に移住定住施策に取り組むもの。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・PRIに向けた取組 定住に必要な情報の一元化、移住相談会参加、パンフレット作成、移住定住支援ポータルサイト構築)</li> <li>・空き家バンクと連動したきめ細やかな補助・助成制度</li> </ul>
			高校生遠距離通学補助金	佐伯市の高校に通学する佐伯市内在住の高校生に対し、遠距離通学による生徒の保護者の負担軽減、市内高校存続の堅持、公共交通機関の利用による公共交通の維持、地域活性化を図るため、公共交通機関を利用して通学する生徒の通学費を補助する。
			佐伯市農林水産物等海外販路拡大支援事業	農林水産物及び水産加工物等の海外輸出を促進、販路開拓の推進によって、地域農林水産業等の振興を図ることを目的に、ブランドおおいた輸出促進協議会が行う活動に対して、(仮称)佐伯市農林水産物等輸出促進協議会が上乘せ補助を行う。

臼杵市	臼杵市まち・ひと・しごと創生総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする</li> <li>・地方への新しいひとの流れをつくる</li> <li>・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</li> <li>・時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する</li> </ul>	ICTを活かした医療・福祉空間と地域の強いつながりを核とした“日本の心が息づくまち”臼杵市版CCRC構想構築事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 安心な暮らしをさらに追求する“日本の心が息づくまち”臼杵の地域づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興協議会の設置、安心生活お守りキットの普及</li> <li>・医療・介護連携ICT基盤「うすき石仏ねっと」と在宅医療の推進(プロジェクトZ)</li> <li>・判断能力が低下しても地域で安心して暮らしていけるための「市民後見センター」の運営</li> <li>・臼杵市の救急医療環境を維持し、大分市の中核医療機関との連携強化</li> <li>・最先端研究とICTを活用した認知症予防ができるまちづくりと認知症になっても安心して暮らしていけるまちづくり</li> </ul> </li> <li>(2) 市外の人に“うすき時間”を体感してもらい、移住・定住を推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・臼杵に住みながら仕事を探すことができるHPの運用(平成28年3月～)と移住支援コーディネーターの設置</li> <li>・グリーンツーリズムの利用促進(年間1,800人)と市内の歴史・文化・自然と連携したインバウンド観光の取組</li> </ul> </li> </ul>
			地域内のエネルギー循環のしくみづくりと臼杵のほんまもの食推進事業(臼杵市バイオマス産業都市構想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市内農林水産業関係者と醸造企業等を巻き込んだ事業推進のための協議会の運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議費、視察旅費、基本計画策定</li> </ul> </li> <li>(2) 森林整備及び木質バイオマス発電実施のための研究事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材カスケードセンターの整備</li> <li>・小規模木質バイオマス発電の手法等に対する研究事業費</li> </ul> </li> <li>(3) 循環型地域活動推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環型農法普及促進</li> <li>・ほんまもの農産物・海産物の6次産業化</li> </ul> </li> </ul>
			大分県と愛媛県との連携強化による交流の促進事業	(1) 大分・愛媛地域間交流促進事業
津久見市	まち・ひと・しごと創生津久見市総合戦略	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住みたい、住み続けたい、魅力あるまちへ</li> <li>2. 子育て世代に選ばれる、産み、育てやすい環境づくり</li> <li>3. 安定した雇用の創出と労働力の確保</li> </ol>  <p>【戦略において目指すもの】  ■若い世代(20～40歳代)について、現在推計される人口減少数値(社会減)を、今後5年間で合計50人抑制する。  ■将来の合計特殊出生率2.20実現に向け平成31年合計特殊出生率を1.57へ回復する。  ■平成31年度において平成26年度の市内就業者数を維持する。</p>	津久見市定住支援事業(仮称)	<p>新築に対する助成や新婚・子育て世帯への家賃補助を行い、若い世代の津久見市への定住を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新築奨励事業(住居を新築するにあたり、市内で消費した額の一部を市内限定の商品券で還元。子育て世帯や市外からの転入者には、加算あり。)</li> <li>・新婚世帯家賃助成事業(新婚世帯が市内の物件を賃貸するにあたり、家賃の一部を助成。市外からの転入者には、加算あり。)</li> <li>・子育て世帯家賃助成事業(子育て世帯(義務教育以下の子供を有する世帯)が市外から転入し、市内の物件を賃貸するにあたり、家賃の一部を助成。)</li> </ul>
			津久見市安心子育て支援事業(仮称)	<p>妊娠期から子育て期まで、それぞれのステージに応じた支援を行い、津久見市で安心して出産し子育てできる環境を整える。(市の単独事業の主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不育症治療費助成事業(不育症治療費の一部助成)</li> <li>・妊婦歯科検診助成事業(妊娠中の口腔環境を整えるため、歯科検診費用の一部助成)</li> <li>・フッ素塗布助成事業(1歳6か月健診時にフッ素塗布券を配布)</li> <li>・放課後学習クラブ(放課後の空き教室を活用し、地域ボランティアの協力を得て、算数のドリル学習を行うなど、子どもたちに学習する機会を提供する。)</li> <li>・土曜寺子屋・つくみ塾事業(月1回・土曜の午前中に地域の方々や大学生の協力を得て、算数・国語のドリル学習を行い、学習習慣の定着を図る。)</li> <li>・児童・生徒フッ化物洗口事業(全小中学校で週1回、フッ化物洗口を実施し、虫歯予防を図る。)</li> </ul>
			津久見市地域創生のためのしごとづくり支援事業(仮称)	このたび産業界と行政による懇話会を設置した。今後、この懇話会での定期的な意見交換を踏まえて、事業者が新たに投資しやすい環境の整備や安定した雇用の創出に向け、官民連携のもと平成28年度中の事業展開を進めていく。
竹田市	竹田市地方創生TOP総合戦略	<p>基本目標Ⅰ ひとを大事にし、郷に生きる人間力を育む</p> <p>基本目標Ⅱ 技の集積と地域経営力を高め、しごとを創出する</p> <p>基本目標Ⅲ 地域力を輝かせて農村回帰の流れを加速させる</p> <p>基本目標Ⅳ コンパクトシティを構築し、集落機能(暮らし力)を高める</p>	基本目標Ⅰ・Ⅱ 親元就業支援事業及び農業後継者雇用安定対策事業(仮称)	<p>※補助や助成制度の薄い親元就業者へ対し助成を行うもの。</p> <p>親元就業とは、規模拡大や新たな仕事へのチャレンジに係るリスクは新規就業者と変わりはないため、国庫事業に採択されない層の補完を行い、安心して故郷に残れる環境づくりを推進する。</p> <p>※特に若い農業後継者のつれあいは、貴重な農業労働力として欠かせない存在でもあるが、妊娠から出産・育児までは、どうしても働くことができにくくなるため、その間の代替労働力の経費を助成し、安心して子育てができる環境づくりを推進、出生率の向上を目指す。</p>
			基本目標Ⅱ・Ⅳ 日本一ブランド戦略プロジェクト	<p>※豊富な地域資源の活用や近年の厳しい農村を取り巻く環境を踏まえ『元気で魅力ある農山村、知恵をだし汗をかいて儲かる農業』を目指すため、「新しい農業への挑戦」・「魅力あるものづくり」・「コミュニティづくり」を基軸に4つの基本目標を設定し、現状を逆手に取った夢のある農村・農業を創造していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①生産側である農政部門と健康を意識した消費側である保健部門の一体的な推進体制による販売戦略体制の構築</li> <li>②竹田市農林畜産「日本一プロジェクト」(サフラン・カボス・しいたけ)</li> <li>③魅力ある農産加工品プロジェクト(サフラン・カボス・しいたけを活用した新商品の開発、生産者・健康づくり関係者・料理家の共同による)</li> <li>④竹田市東京事務所を活用した情報発信</li> </ol>
			基本目標Ⅱ・Ⅲ 竹田市学院構想～大学のないまちに大学生があふれ、学び集う竹田へ～(仮称)	<p>※竹田総合学院(TSG)のブラッシュアップへ</p> <p>まち全体が学院を形成し、埋もれた歴史や文化・地域資源を再構築して、移住者を呼び込み、地域に根付いた起業家を育成する。を基本コンセプトにし、資源を活用した地域をキャンパスにし、学び、創造し、人材育成・起業・就労の実現や技(技術)の集積を目指す。</p>

豊後高田市	豊後高田市まち・ひと・しごと“全力”創生プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>「訪れたい」「住みたい」を全力で応援するまちづくり</li> <li>「働きたい」を全力でかなえるまちづくり</li> <li>「産み育てたい」を全力で支援するまちづくり</li> <li>「人、地域、未来」を全力でつなぐまちづくり</li> </ul>	千年の時を刻む心いやす郷づくり推進事業	・本市の田染地域において、里山の原風景を堪能できる仕掛けづくりを行い、空き家への移住促進を図る。
			訪日外国人受入観光整備事業	・大分県、ツーリズムおおいた及び国東市との連携によるインバウンド推進(旅行商品造成委託、外国人受入に関するコンサル等にかかる経費)
			新規就農支援事業	・アグリチャレンジスクールや家賃補助等による、新規就農者への支援を行う。
			若者創業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>(起業チャレンジ若者支援事業)市内の若者が新規に起業する場合、初期コストに必要な経費の一部を助成することで新たな需要の開拓や雇用の創出等を促し、地域経済の活性化を行う。</li> <li>(起業チャレンジウェルカム支援事業)移住者が、地域活性化のため起業を行う場合、初期コストに必要な経費の一部を助成することで、スムーズな起業の支援を行い、地域の元気を創出する。</li> </ul>
			ステップファミリー支援事業	・充実した本市の子育て及び教育環境で、子どもを育てることを希望するステップファミリーを支援する。
杵築市	杵築市まち・ひと・しごと創生総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方における安定した雇用を創出する</li> <li>地方への新しいひとの流れをつくる</li> <li>若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</li> <li>時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</li> </ul>	きつきブランド推進事業(杵築ブランド推進協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略的にブランド化や6次産業化を推進し、地域製品の販路拡大を図る。</li> <li>売れる商品開発支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏百貨店・高級スーパーのバイヤーによる研修会や個別商品開発指導の実施</li> </ul> </li> <li>杵築ブランド承認事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>ブランド認証制度に基づき、市内製品の「杵築ブランド」認定と販売支援の実施</li> </ul> </li> <li>販路開拓事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏百貨店・高級スーパーにおける販売会や商談会の実施(杵築ブランドと製品の認知度向上)</li> </ul> </li> <li>情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>ブランドマークデザインとその派生ツール(容器、包み紙、紙バック)の利活用の推進</li> </ul> </li> </ul>
			チャレンジショップ支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジショップ開設支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>空き店舗解消かつ、商店街のにぎわい創出のため、空き店舗を活用してこれまでにない目新しい取り組みを行う店を出店する。その事業者等へ貸し出す建物の所有者に対し、改修費の一部を助成。</li> </ul> </li> <li>チャレンジワゴン開設支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>空き地解消かつ商店街のにぎわい創出のため、空き地を活用して簡易型移動店舗を設置する事業者に対し、簡易店舗制作費の一部を助成。</li> </ul> </li> </ul>
			・移住体験事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住体験事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>移住への判断材料としてもらうため、農家や観光施設での仕事体験や市内の施設等の紹介し、移住者の増加につなげていく。</li> </ul> </li> <li>生活設計ができる移住パッケージの開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>安心して移住できるように、移住前から生活基盤の具体的選択肢を示した具体的なパッケージの開発し、移住希望者に情報を提供していく。</li> </ul> </li> </ul>
			・住民自治協議会の充実	市内各地域の将来人口を見据え、住民自治協議会の取り組みを多様化し、自主的に地域課題の解決を行なっていける組織(小規模多機能自治)とするため、仕組みの構築や活動に対する支援を行う。
宇佐市	宇佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定した雇用を創出する</li> <li>新しいひとの流れをつくる</li> <li>結婚・出産・子育ての希望をかなえる</li> <li>地域をつくり、地域と地域を連携する</li> </ul>	すくすく子育て祝金事業	次代を担う子どもの健やかな成長を切れ目なく支援するため、出産及び子どもの小・中学校入学を祝福し祝金を支給することにより、子育て世代の保護者の経済的負担軽減を図り、もって少子化対策及び子育て世代の定住促進に寄与する。
			ひとり親家庭等結婚祝金事業	婚姻のため児童扶養手当受給資格者が受給資格を喪失し、継続して6カ月以上婚姻関係にあり、かつ宇佐市に住民票がある場合に祝い金を支給。ひとり親同士が結婚の場合はそれぞれに支給する。
			多子世帯保育料軽減事業	「大分ここにこ保育支援事業」では対象外となる3歳以上の児童に対しても、第2子半額、第3子無料とする保育料減免措置により、多子世帯の経済的負担軽減を図り、少子化対策及び子育て世代の定住促進に寄与する。
			地域おこし協力隊活用事業(インバウンド対策)	アフターDCとして「地域おこし協力隊」制度を活用し、観光振興のインバウンド対策のため観光協会と連携しながら外国人観光客の受け入れを強化するとともに、観光客や地域住民とも連携しながら、宇佐市の観光を全国へ発信する活動支援等を行う「地域おこし協力隊員」を配置。
豊後大野市	豊後大野市総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな生活を支えるしごとがあるまちを目指します。</li> <li>豊かさを実感できる暮らしがあるまちを目指します。</li> <li>豊かな心と学ぶ意欲を育むまちを目指します。</li> <li>豊かな自然を未来に残し伝えるまちを目指します。</li> </ul>	参加と協働のまちづくり事業	地域住民による持続可能なまちづくりのための仕組みづくりと次世代の地域リーダー育成のための人材育成事業を行う。
			特産品販路開拓事業	特産品の販路拡大のためのアンテナショップ(台東区)、PRショップ(大分市)の運営、広告、アドバイザーの招聘等により、地場製品のブランド化、ひいてはオール豊後大野の地域ブランド化を推進する。
			定住促進住宅補助事業等	移住に際しての持家取得に係る経費や空き家同居に係る諸経費の助成を行うことにより市外からの移住を促進する。また、空き家を利用した移住体験用の施設を整備し、一定期間体験してもらうことにより市外からの移住を促進する。
			オリジナル住宅構想事業	大学の建築学科の学生による豊後大野市らしい住宅の基本構想により、市のオリジナル住宅設計を行う。
由布市	由布市総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>I 由布市における安定した雇用を創出する</li> <li>II 由布市への新しい人の流れをつくる</li> <li>III 由布市での若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</li> <li>IV 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</li> </ul>	就農支援事業	新規就農者支援メニューを拡大し、新規就農者の確保、定住促進を推進する。また、農業法人等の経営基盤を強化し、新規品目の導入等を推進する。更に新規就農者や農業法人等の若い世代で「農業青年ネットワーク」を構築し、情報の共有や研修を行い、労働者の資質の向上を目指す。
			観光受入環境基盤整備事業	温泉と自然環境等を最大限に活用し、質の高い滞在型の保養地づくりを目指すため、観光客の受け入れ体制【TIC】を整備することにより、日本人観光客及び訪日外国人観光客が、訪れやすく、また、長く滞在したい・何度でも訪れたいと感じるまちを目指します。
			都市と農村の交流促進事業	由布市におけるグリーンツーリズムを推進させ、インバウンドを含めた観光振興と農村の活性化を図る。また、地区住民が一体となって農泊客を受け入れる「由布市版農泊スタイル」を確立して、都市と農村の交流人口の増加を目指す。
			地域子育て支援事業	世代を超えて地域に眠っている人材を活用するため、「子育てサポーター」を養成する講座等を開設し、市民みんなで子育てをサポートできる地域社会の構築を推進するとともに、様々な人材のネットワーク化や組織化を視野に入れた中間支援組織づくり設立に向けた調査研究を進めます。また、既存公共施設の利活用等の中で、安全で安心して過ごせる子どもの居場所づくり(児童館、放課後児童クラブ、子育て支援センター、図書館、公園施設等)の充実・拡充を推進します。
			由布コミュニティ(地域の底力再生)事業	由布市には、150の自治区があるが、それぞれの地域の魅力や抱えている課題はさまざまである。そこで、それぞれの地域でこれからの地域づくりについての話し合い、交流を深め、地域の実態に合った取り組みを支援する。
			由布市クアオルト推進事業	由布市のクアオルトは、温泉と自然環境等を最大限に活用し、質の高い滞在型の保養地づくりを目指すため、環境と景観を保全し、健康と医療を結び、観光の総合産業化など、様々な分野のまちづくり施策を推進することにより、市民も来訪者も健康で快適な暮らしと時間が実感できる、住んでよし、訪れてよしと思える取り組みを進めます。また、日本クアオルト協議会に加入している6市1町との自治体との連携を行い、魅力あるクアオルトの取り組みを進めます。

国東市	国東市まち・ひと・しごと総合戦略	安定した雇用の創出	企業等農業参入推進事業	次世代を担う力強い経営体づくりのため、企業や農業生産法人が農業参入をする場合、汎用性のある機械、施設の購入に要する費用を補助し、特に異業種からの早期営農定着を支援する事業。 企業の農業参入のスムーズな流れを形成することにより、地域の雇用の創出の形成を図ることも目的。
			かき生産基盤整備事業	カキ養殖に適した漁場があることから、民間企業等が実験を実施してきている。現状の漁業者の低位収入状況からの打開を目指すため、カキ養殖に少しでも取り組みやすいように補助事業を実施し、カキ養殖産業の育成を図る。また、カキのブランド化とそれを支える世界衛生基準に準拠した養殖海域などの監視体制を構築し、輸出産業としての育成を目的に、支援していく。
			広域連携アンテナショップ事業(拡充)	世界農業遺産に認定された国東半島地域に立地する3市1村(国東市、豊後高田市、杵築市、姫島村)が連携して、観光、移住・定住情報のPRや特産品の販路拡大を目的にアンテナショップを出店している。 これまでのアンテナショップの成果をさらに強化する取組を行う。
		若い世代が結婚・出産・子育てに希望を持てる環境をつくる	予防接種(任意)助成事業	予防接種法に定められた定期的な予防接種はもちろんではあるものの、それでカバーできない任意の予防接種において、国東市は県内でもトップクラスの助成をしているものの、任意の予防接種は高額な費用となることから、より一層の費用助成を実施し、接種しやすい環境を確立し、疾病の罹患を防止し、子どもの健康を守るとともに、保護者の経済的負担及び予防を重視し、医療費の抑制も目指す。
		ファミリーサポート事業	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童預かりの援助を受けることを希望するものと当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する事業。地域において育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、育児や介護について助けあうファミリーサポートセンターの運営を実施するもの。	
姫島村	姫島村まち・ひと・しごと創生総合戦略	基本目標Ⅰ 結婚・出産・子育て・人づくりの推進	婚活の推進	・婚活活動の実施 ・婚活事業を実施する事業者への助成
			沿岸漁業振興特別対策事業	漁場の整備(2ヶ年事業) 海底の耕うん A=95,000㎡ 対象魚・・・カレイ、ヒラメ、車エビ
		基本目標Ⅱ 水産業の振興と地域資源を活用した産業の振興、雇用の促進	「おおいた姫島ジオパーク」拠点施設整備事業(仮称)	「おおいた姫島ジオパーク」活動の拠点施設整備 廃校となった旧小学校特別教室を改修し、一部を拠点施設として活用 RC2階建 延べ面積 640㎡
			拍子水(温泉)活用事業(仮称)	拍子水(温泉)を活用した観光の振興 ・拍子水(温泉)を利用するための施設整備を行う。
日出町	日出町まち・ひと・しごと創生総合戦略	・産業振興により賑わいと活力をつくる ・新しい人の流れをつくり、定住を促進する ・結婚・出産・子育て・教育を支援する ・安心・健康・快適に暮らせ、時代に合ったまちをつくる	空き工場利活用促進事業	町有化された空き工場を有効活用しての企業誘致を推進するため、当該空き工場の調査及び整備を行う。また、新規立地決定のインセンティブとなるよう助成制度を設け、新たな雇用の創出を図る。
			大神海岸線観光振興事業	観光資源が点在する大神海岸線の観光振興を図るための包括的事業。現在策定中の「大神海岸線振興ビジョン(仮称)」を基に、「回天」大神訓練基地遺構、糸ヶ浜海浜公園を中心とした大神海岸線地域の観光・産業施設の整備や当該地域において活動する事業者・住民団体への支援を行い、周遊ルートの確立や地域産業の活性化を図る。
			「日出の幸」ブランド化推進事業	日出町の海の幸・山の幸の産出量・販路拡大を包括的に支援する取組。町を代表する産品である「城下かれい」の放流量・漁獲量向上のための海面養魚場による中間育成、海・農産物の販路・消費拡大及びPR活動、カキ養殖事業や海洋観光事業といった新たな取組の支援を行い、第1次産業の活性化を推進する。
九重町	九重町まち・ひと・しごと総合戦略	・九重町における安定した雇用を創出する ・九重町への新しい人の流れをつくる ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ・時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。	町が100%出資する株式会社の設立	現行の町有施設の管理受託、委託業務の受託や作業受託等を効率的に行うことや、これまで取組がされていなかった町の特産品のインターネット上の販売等を行うとともに、個人の技能を活かした登録制の人材活用センターも併せ持つことにより、町内における新たな就労の場を創出する
			インバウンド観光推進事業	観光客の利便性向上のために、スマートフォンやタブレットが利用可能な「九重町まち歩きナビ」の開発、並びに外国人に対応した多言語(英語、ハンゲル語、中国語(繁体字、簡体字))による情報提供を図る。 併せて台湾をターゲットとしたプロモーション活動を実施し、インバウンド観光を推進する
			多世帯同居リフォーム支援事業	子どもを安心して生み育てられ、高齢者が安心して暮らすことのできる住環境を創出するため、多世帯で同居するために必要となるリフォーム工事に要する費用の一部を助成する
玖珠町	玖珠町まち・ひと・しごと創生総合戦略	・楽しく学び個性と感性を育むまちづくり(教育・文化の向上) ・活力あふれる活気あるまちづくり(産業の振興) ・健やかで健康に暮らせるまちづくり(保健・福祉の向上) ・玖珠町の特性を活かしたまちづくり(地方創生)	豊後森機関庫周辺整備事業	・JR九州から廃止した観光列車を譲り受け機関庫へ移設し、イベント等に活用する ・施設全体の運営体制の確立 ・ソフト事業を展開する組織体制の立上げ
			台湾へのPR事業	・民間が運営し台湾で開催される「タッチ ザ ジャパン」へ参加し玖珠町をPRする(ジャンボこいのぼり) ・玖珠町内で台湾の観光客を誘致するソフト事業(ジャンボこいのぼりのくぐり抜け)等の体制を確立する
			地元高校支援事業	・コミュニティスクールを活用した地域で支える体制の確立 ・中高合同による町内社会見学、有名講師による講演会の実施 ・学力向上や高校の特性を活かした研究に対する支援